

看護部長の見解

この度は、水府病院及び連合会に対し、不要なご心配を多々おかけしたことを深くお詫び致します。

筑波大学との共同研究、連合会広報誌への掲載、共済医学会発表、沖中研究助成推薦など赴任して以来関係者の皆様に応援して頂いていた脳響水研究で誤りや研究不正が 2013 年 12 月 20 日に発覚し、2014 年 1 月 28 日から全国に向け「ガラクタン」に関する誤報のお知らせをしてまいりました。2014 年 10 月 12 日には福井県大野市で開催の日本の初のさといもサミットの 2 名の特別講演者の一人として招待され、誤報の事実をさといも産地や消費者の方々にお伝えさせていただきました。

ところが、さらに調査の結果、本年 1 月、「ムチン」についても誤報であることが判明しました。時期を同じくして、2 名の研究者からの情報提供も受け、「完全な誤り」と断定するに足る根拠をえることができました。2017 年 1 月 28 日からガラクタン同様、注意喚起を行い、20 日からは削除依頼を行っております。その間、厚生労働省、農林水産省、文部科学省、産業経済省、総務省など関係省庁にも情報提供を行い、国立健康・栄養研究所、理化学研究所など関係機関とも連携し、周知徹底、再発防止に全力を挙げております。

さといもやオクラ、レンコン、ねぎなどのねばねば食品に含まれるガラクタン、ムチン、両方の健康効果などに関する誤りは日本のみの問題であり、世界文化遺産としての和食の普及や 2020 年の東京オリンピック開催にも支障が出るため、早急の解決が望まれます。

誤報を発信したメディアや企業の中には、国の（賠償等）責任を問う声さえ出ている状況ですが、社会全体の問題ととらえ、企業の CSR 部門やコミュニティーと連携し、自主的に解決していきたいと考えています。

この問題では水府病院及び連合会が当事者意識をもち、責任をもって対応すべき問題ととらえ、情報提供時等には「KKR 水府病院 看護部長」と所属と役職名を明記しております。

以上、私の見解を述べさせていただきました。